

6M×6Mテント

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
作業準備	設置前打ち合わせ	設置場所(スペース)、テントの間口(向き)を事前に打ち合わせをする。 設置場所の環境(風、地盤)を調べ、養生方法を定める。 作業は通常4人でを行います。	設置場所を確認する時、養生のスペースも確認すること。 地盤を見極め、杭、ウエイトどちらかに決め、風の強い所、場合は養生を通常より増やす。(状況に応じて、幕を外し、足を伏せておく。)
部材確認		 ①コーナー部材×4 ②足部材×4 ③補強白ワイヤー×2 ④支柱(屋根)×1 ⑤桁(オス)×4 ⑥桁(メス)×4 ⑦柱×4	
設営作業		 ①コーナー部材 ②足部材 ③補強ワイヤー ④支柱 ⑤、⑥桁(オス、メス) ⑦柱 部材を確認したら、上記の写真のように部材をならべて下さい。  レール (横幕を付ける際に必要) ※部材をならべる際、桁のレールは下向きにしておいて下さい。	

区分



※柱はレールがついてない方が外側になります。足部材の穴があいている方が外側にくるように取付て下さい。

部材をならべたら、桁とコーナー部材、柱と足部材を組み合わせます。



部材が組み終わったらワイヤーを掛けます。コーナー部材のフックに引っ掛けて対角にワイヤーを伸ばしていき、ワイヤーをクロスさせます。
※ワイヤー掛ける際、片方を引っ掛けもう片方は最初に掛けたコーナーを持ち上げ、ワイヤーをたるませて引っ掛けます。



ワイヤーを引っ掛け左記の写真のような状態をつくります。

区分

設
営
作
業

部材を組み終わったら次に天幕を掛けます。3人または4人で天幕を広げ、角を持ちコーナー部材にあわせませす。コーナーを合わせたらテントの中に入り支柱を起こします。天幕の中心に穴が空いているので支柱を差しします。支柱の下に滑車がついているのでそれを交差しているワイヤーの上になっている方に寝かした状態で乗せて徐々に起こしていきます。

※天幕を広げる際は、ブルーシートを引く。

※天幕を掛ける前に支柱をテントの中へ入れておきます。

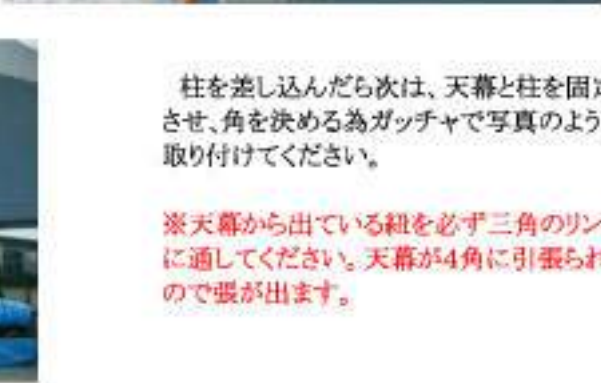
※支柱を起こしたら支柱をひねって伸ばしていき、天幕に張を出して下さい。



天幕を掛けたらテントを起こし、柱を入れていきます。写真にあるような道具※人力の場合は2人以上で行って下さまたは人力で桁を持ち上げます。これを逆側も行い柱を4本とも差し込んで下さい。



※写真にあるような道具を使った場合、桁の真中あたりより若干、桁のオス側に引っ掛けて下さい。(重心をとる為)

区分	作業手順	作業要領	安全対策、注意事項
設 営 作 業		  柱を差し込んだら次は、天幕と柱を固定させ、角を決める為ガッチャで写真のように取り付けてください。 ※天幕から出ている紐を必ず三角のリングに通してください。天幕が4角に引張られるので張が出ます。	これで完成になります。現場の状況に合わせて養生をして下さい。 撤去は基本的にこの逆の手順で行います。 横幕を取り付ける場合は下の写真のように桁、柱のレールに横幕を通していきます。 ※横幕は1面に対して2枚で1組になり、真中はマジックテープになっているのでそれを貼り付けて閉じます。
		     	